

情報提供

令和6年7月1日現在

I 学校概要（情報提供ガイドラインの項目1）

1 学校組織

(1) 学校法人岡山科学技術学園

理事長 瀬戸川正彦

校外理事 梶谷俊介 松田 久 丸山夏樹 横田直樹

校内理事 瀬戸川康宏 大月秀之 小野裕明 安藤研二

監 事 入江一吉 和氣由典

所在地 〒700-0032 岡山県岡山市北区昭和町8番10号 TEL (086) 255-7171

(2) 専修学校岡山科学技術専門学校

校長 大月秀之

設置課程 工業専門課程、文化・教養専門課程

所在地 〒700-0032 岡山県岡山市北区昭和町8番10号 TEL (086) 255-7171

〒700-0034 岡山県岡山市北区高柳東町7番15号 TEL (086) 255-4822

HP <https://www.oist.ac.jp>

2 教育活動方針

(1) 教育理念

技術教育を通じての人間教育

(2) 教育体系

岡山科学技術専門学校では、専門教育の充実、資格取得の推進、進路指導の充実、学生指導の充実を教育活動方針の柱とし、社会に貢献できる人間性豊かな技術者の育成を目指している。併せて教育活動を継続的に改善するため、PDCA サイクルを活用している。基本的な流れとしては校長の定める教育活動方針および学科で作成する学科ガイドブック(Plan)を基に教育活動を実施(Do)、年度末に自己点検(Check)を行い、次年度の教育活動方針に反映(Action)させるという構成となる。PDCA サイクルの要となる自己点検は、教職員に対するアンケート方式で毎年末に行っている。

3 沿革

昭和62年10月	専修学校の設立が認可される
昭和62年11月	1号館竣工
昭和63年 4月	開校式を挙行 設置学科 情報系、電気系、生物、機械系、自動車の11学科
昭和63年 9月	2号館竣工
平成 1年 4月	建築・インテリア系学科を新設
平成 8年 4月	3号館竣工 設置学科 情報系、電気系、生物、建築系、機械、測量、自動車の11学科
平成 9年 9月	創立10周年記念式典を挙行
平成18年 3月	高柳校舎 B 棟・C 棟竣工。3号館を A 棟に改称
平成23年 4月	日本語学科開設

平成24年 5月	創立25周年記念式典を挙 設置学科 情報、映像音響、電気、バイオサイエンス、建築系、測量、 ものづくり、自動車系の11学科
平成28年 4月	国際自動車工学科、進学準備学科開設 設置学科 情報、映像音響、電気、バイオサイエンス、建築系、測量、 ものづくり、自動車系、日本語系の14学科
平成30年 5月	創立30周年記念式典を挙
平成31年 4月	学科名変更 バイオサイエンス学科 ⇒ 食品生命科学科 ものづくり工学科 ⇒ ものづくり創造学科
令和 4年 4月	学科名変更 電気工学科 ⇒ 電気通信工学科 ものづくり創造学科 ⇒ 国際機械工学科 一級自動車工学科 ⇒ 一級自動車工学研究科 新設 ICT ライセンス学科 設置学科 映像音響、電気通信、食品生命科学、建築系、測量系、機械系 情報処理、自動車系、日本語系の14学科

4 設置学科、学生数*2

学科名	V*1	E*1	B*1	K*1	LK	N*1	M*1	LM*1	RC	IC	IS*1	IM*1	Y	J
学生数*2	51	36	12	44	15	21	61	4	12	19	19	129	24	105

*1：職業実践専門課程認定学科

*2：令和6年5月1日現在

(人)

V 映像音響学科

E 電気通信工学科

B 食品生命科学科

K 建築工学科

LK 建築工学研究科

N 測量環境工学科

M 二級自動車工学科

LM 一級自動車工学研究科

RC ICT ライセンス学科

IC 国際情報学科

IS 国際機械工学科

IM 国際自動車工学科

Y 進学準備学科

J 日本語学科

II 各学科等の教育（情報提供ガイドラインの項目2）

1 映像音響学科

(1) 目指す学科像

知識と技術を定着させる資格取得教育と、豊かな経験を積む実践的教育を二本柱として教育する学科を目指します。

- ① 専門知識をもつ講師の指導の下、確実な資格取得に向けたカリキュラム設定を行います。
- ② 文化施設・芸術団体との連携をはかり、舞台・芸術に触れることのできる教育環境を構築します。

(2) 育成する学生像

人々の心を打つ、作品、空間を作り出す豊かな創造力と、それを形にする専門的知識を身に付けた人材の育成を目指し、以下の3点に取り組みます。

- ① 業界で活用できる資格試験に挑戦し、幅広い専門知識を習得した人材の育成を目指します。
- ② インターンシップ、外部講師による特別教育により、実践的で将来への気持ちを高める経験を育むことを目指します。
- ③ 創作活動を通じて、達成感や人々に感動を与える喜びを知るとともに、その世界を作り出す厳しさを理解した技術者の育成を目指します。

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
舞台機構調整技能士	入学後、3級受験資格の取得 在学中に2級まで受検可能	舞台音響・舞台照明の技術者にかかわる唯一の国家試験。現役の技術者も毎年多く受検している。

(4) 将来はこんな職業に

- 映像関係（映像制作・技術、カメラマン、編集）
- 音響関係（音声、コンサートPA、ブライダルPA、ラジオPA）
- 照明関係（舞台照明、テレビ照明）
- その他（文化施設管理業務、イベント企画・運営、舞台設営、特殊効果）

2 電気通信工学科

(1) 目指す学科像

我が国の電気利用は、エネルギーとしてだけでなく、あらゆる分野に広がっています。また通信への需要は年々高まり通信技術無くして社会は成り立たなくなっています。当学科は高い技術力を持ち社会に貢献できる電気技術者、電気通信技術者を育成するために、以下の3点に取り組みます。

- ① 電気工事と電気通信に重きを置いたカリキュラムを編成し、電気理論と電気通信の基礎・基本を徹底して学習することにより、電気工事、電気通信工事、無線通信設備の操作や保守点検等ができる人材の養成を目指します。
- ② 第二種電気工事士、第一種電気工事士、第一級陸上特殊無線技士、第一級陸上無線技術士、2級電気工事施工管理技士、危険物取扱者乙種第4類、消防設備士甲種4類・乙種7類の資格取得を目指します。
- ③ 挨拶やマナー教育、6S（整理・整頓・清掃・清潔・躰・安全）管理の指導を継続的に行います。

(2) 育成する学生像

当学科は、電気技術者への多様な要求に応えるため、以下の3点に取り組みます。

- ① 質の高い確かな技術力を持った、即戦力となる電気通信技術者を育成します。
- ② 自主的・創造的な精神を持ち、継続的に資格取得に挑戦する人材を育成します。
- ③ 礼儀正しく人間性豊かでコミュニケーション力を持った人材を育成します。

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
第二種電気工事士	卒業と同時に無試験で取得	一般用電気工作物（一般家庭など）の工事に必要な資格。
1級電気工事施工管理技士	卒業後実務経験5年で受験可能	大規模建設において電気工事と他の工事を関連づけ、電気工事の現場を監督し、管

		理する立場の資格。
2級電気工事施工管理技士	卒業後実務経験2年で受験可能	小規模建設において電気工事と他の工事を関連づけ、電気工事の現場を監督し、管理する立場の資格。
1級電気通信工事施工管理技士	卒業後実務経験5年で受験可能	大規模建設において電気通信工事と他の工事を関連づけ、電気通信工事の現場を監督し、管理する立場の資格。
2級電気通信工事施工管理技士	卒業後実務経験2年で受験可能	小規模建設において電気通信工事と他の工事を関連づけ、電気通信工事の現場を監督し、管理する立場の資格。

(4) 将来はこんな職業に

- 設備工事関係(電気工事、通信工事、電気・通信機器整備などの電気・通信技術職)
- 設備管理関係(工場・ビル・病院などの電気・通信・空調の設備管理職)
- 電気保守関係(製造業などの工場の受電設備や配電線の電気保安技術職)
- 機械保全関係(企業・工場での機械の修理・点検・工務などの保全技術職)
- サービスエンジニア関係(卸売・小売業販売業などでのカスタマーエンジニア)
- 技術公務員関係(公務員・法人などの電気・通信技術職員)

3 食品生命科学科

(1) 目指す学科像

当学科は以下の4点に取り組みます。

① 専門教育・基礎学問の充実

- ・超高齢化社会を迎える、これからの日本を支える人材となるため、健康な身体づくりに欠かせない、食品や環境分野の学問を基礎として学び、そこから健康につながる栄養や衛生関連の学問も学んでいきます。
- ・座学で得た知識を実習で活かし、実践で活躍できる学生を育成します。

② 地域と共に歩む専門学校を目指します

- ・環境の授業を通じ、学校周辺のごみ回収活動等に参加し、積極的に地域美化に努めます。また、清掃活動を通じ、地域奉仕の心や人間として美しい豊かな心を養います。
- ・地元の健康・食品関連企業とコラボし、「カギセン」ブランドの製品化を目指し地域に貢献します。

③ 資格取得の推進

- ・健康を見据えた、「健康予防管理専門士」試験をはじめ、「食生活アドバイザー」や「環境測定分析士」、品質管理者の求人に対応した「品質管理検定」を受験します。

④ 6S管理の徹底・コミュニケーション能力の向上

- ・社会人となるにあたり、あいさつやコミュニケーション力を磨き、自分の伝えたい事が的確に伝えられることを目的に、実習の発表を通し身に付けさせます。
- ・成人を18歳と自覚させ、社会人になるにあたり、しっかりと6S管理の徹底や社会人としてのマナー(挨拶、時間厳守、報連相等)を授業やインターンシップ授業等学校外の授業も合わせ、身に付けさせます
- ・進路に関して、卒業生や関連企業とも協力し、就職率100%を目指します。

(2) 育成する学生像

- ① 世界の課題である、食糧危機に立ち向かい、広い視野で解決策を考えられる技術者を育成します。
- ② 環境問題を課題と考え、未来の子供たちが住みやすい地球環境を考えられる技術者を育て

- ます。
- ③ 関連する地域企業と協力し、地域を活性化する人材を育成します。
 - ④ 礼儀正しく人間性豊かでコミュニケーション力を持った人材を育成します。

(2) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
中級バイオ技術者認定試験	卒業見込みで受験可能	遺伝子組換えなどの技術、そしてこれらを行うための安全管理に関する知識を持ち、適切な指導者のもとで実際にバイオテクノロジーに適応しうる資質を認定する。

(3) 将来はこんな職業に

■食品衛生検査

食品中の汚染の指標菌や食中毒菌を検査し「食の安心・安全」を担保する業務を担当します。

■環境分析技術者

河川の水質分析や大気汚染物質の測定、希少な動植物の調査など、環境保全の業務を担当します。

■その他 発酵関連、食品製造、食品開発、化学関連、品質管理 など

4 建築工学科

(1) 目指す学科像

- ① 建築設計・施工の分野のみならず、インテリア・福祉住環境など幅広い専門分野の学習と知識の習得を目指します。
- ② 二級建築士や2級建築施工管理技士・インテリアコーディネーター・積算士補など、多くの資格取得が可能となる学習を実践します。
- ③ 企業・外部講師との連携やインターンシップ等多彩な取組を通じて、社会で通用する実践力が身に付くように学生指導を行います。
- ④ 学生と教員の相互信頼を大切にしながら、日々の授業実践を真剣かつ興味あるものにします。

学科のスローガン

- ★★★ 自己管理を徹底して遅刻や欠席をなくし、真剣に学ぶ！
- ★★★ 建築業界で活躍できる資格取得と実践力を身に付ける！
- ★★★ 規範意識を持ち、マナーやルールを守る！
- ★★★ 整理、整頓、清掃を徹底する！

(2) 育成する学生像

- ① 建築教育を通じて、創造することの楽しさや喜びを感受できる豊かな心を育み、社会に貢献できる学生
- ② 建築の専門資格や技術を修得することで、未来に挑戦する意欲を養い、自信と誇りを持った学生
- ③ 基礎・基本を大切にしながら多様な知識・技術を身に付け、意欲的に実社会に飛び込もう

とする、生きる力と逞しさを備えた学生

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
一級建築士	卒業と同時に受験可能。 合格後実務経験4年で登録可能	建築物の用途、規模、構造など無制限に、設計および工事管理ができる高度な資格。
二級建築士	卒業と同時に受験可能	一級より業務範囲は限られるが、設計や工事の業務ができる有利な資格。
木造建築士	卒業と同時に受験可能	延べ面積300㎡、階数2以下の木造建造物に関する業務を行う木造専門の建築士資格。
1級建築施工管理技士	卒業後実務経験5年で受験可能	建築施工技術者を育てる指導的技術者の資格。幅広い建築工事で、管理技術者として活躍できる資格。
2級建築施工管理技士	在学中に学科試験受験可能。 卒業後実務経験2年で実地試験受験可能	現場監督など工事現場での義務づけられている有資格者として活躍できる資格。

(4) 将来はこんな職業に

- 進学（建築工学研究科で2級建築士を在学取得）
- 建設会社（設計・施工・大工）
- 建築設計事務所（設計）
- 住宅メーカー（住宅営業・設計・施工）
- 建材メーカー（営業・工場など）
- 家具・インテリア関連企業（デザイン・制作）

5 建築工学研究科

(1) 目指す学科像

当学科は一級建築士及び二級建築士の受験対策を通じ、自ら考え行動できる「実行力」のある人材を育成します。また、教師間の連携により、最新の専門知識や技術を習得するとともに自己研鑽に励み、業界に即座に通用する技術力を備えた人間性豊かな建築技術者の育成を目指します。

■重点目標：ワンランク上へのスキルアップ！

- ① 仕事に役立つ資格や最新技術の取得に挑戦し実現させる計画力と実行力を育成します。
 - ・二級建築士、2級建築施工管理技士、インターンシップ
- ② 本物を目指し、効率的な仕事をするためのPDCAサイクルの理解を深めます。
 - ・Plan(計画)→Do(実行)→Check(検証)→Action(改善)のスパイラル
- ③ 人間性と専門資質の向上
 - ・社会人として通用する身だしなみ、心構え、仕事意識を定着させます。
 - ・心豊かで逞しく働く意欲を旺盛に発揮し、仕事のやり甲斐や責任感を高めます。
 - ・自分の置かれている環境を見つめ直し、感謝の気持ちを胸に周囲との連携を図り、より完成度の高い成果を得られるよう育成します。

・学科のスローガン

- ① 大学卒業より2年早く建築のプロ（二級建築士）になる！
- ② 業務遂行能力の熟成
- ③ ワンランク上を目指す！

(2) 育成する学生像

当学科ではワンランク上の学科として、より高度な実務レベルの建築知識・技術の修得、企業や地域と連携した実践的教育を行います。それにより責任感と業務遂行能力を高め、周囲との連携を図れる社会人を目指します。また、絶えず建築の将来ビジョンを持って業界人資質を高めていける人材を育成します。

(3) 将来はこんな職業に

- 建設会社（設計・施工・大工）
- 建築設計事務所（設計）
- 住宅メーカー（住宅営業・設計・施工）
- 建材メーカー（営業・工場など）
- 家具・インテリア関連企業（デザイン・制作）

6 測量環境工学科

(1) 目指す学科像

当学科は、測量と建設の両分野で工学的な教育を実施します。昨今、地震や豪雨災害等により社会基盤の崩壊が危惧される中、安心・安全な社会基盤の再構築に貢献できる技術者を育成するため、以下の3点について重点的に取り組みます。

- ① 国土交通省国土地理院の第3号測量士補養成施設として必要なカリキュラムを実施するとともに、測量実践教育を企業と共に連携し実施します。
- ② 国土交通省の建設業法施行令による技術検定制度の技術検定受験資格認定学科としてのカリキュラムを実施します。また、工学、研修実習、演習等の多方面から技術を修得させ、実力のある施工管理技士の育成を図ります。
- ③ 建設施工の社会基盤に関連する工学と、基盤の調査から社会資本の設計、施工、管理、基盤の評価、維持管理等に至る一連の工学のカリキュラムを実施します。また、企業と共に連携し講義、講習等指導を得ながら建設技術者の教育の充実を図ります。

(2) 育成する学生像

社会基盤の創造に携わり、安全・安心な社会資本の構築に貢献することを喜びとする実践的なシビルエンジニアを目指し、社会人マナーを持つ人間味溢れたコミュニケーション能力豊かな技術者を育てます。その目的達成のため以下の4点に重点を置き人材育成を行います。

- ① 測量に関する専門知識や技術・技能を座学や実習を通して体験的に学習し、実践力のある測量士補の育成を目指します。企業と共に連携し講義、実習等を実施し、全員が測量士補としての技術力を身に付けさせます。
- ② 建設に関する専門知識や技術・技能を座学や実習を通して体験的に学習し、実践力のある2級施工管理技士の育成を目指します。尚、1次試験の合格率の向上を図るため演習を過去問中心に行います。卒業時に1次試験合格者70%以上を目指します。
- ③ 測量・建設に関する専門知識や技術・技能を座学や実習を通して体験的に学習し、実践力のある測量技術者、シビルエンジニア、公務員等の育成を目指します。また、放課後の空き時間を利用し、各自の目的・方針に合った補習を行い各自の方向性に合う専門知識を向上させます。

- ④ 教室、実習室等の清掃強化の他、基本的な挨拶、言葉遣い、身だしなみ、時間厳守等社会人マナーの躰教育に努めます。

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
測量士補	卒業と同時に無試験取得	測量士が作成した測量計画に従事し、実測を行うための資格。
測量士	卒業後実務経験2年で申請のみで取得	測量法の適用を受ける基本測量、国や公共団体が行う公共測量などに従事するための資格。
1・2級 土木施工管理技士	卒業後実務経験 2級：2年で受験可能 1級：5年で受験可能	土木工事やトンネル、ダム、橋梁の工事現場に置かれる主任技術者などに必要な資格。
1・2級 管工事施工管理技士	卒業後実務経験 2級：2年で受験可能 1級：5年で受験可能	管工事にあたり施工計画や施工図の作成、工程管理や安全管理などを担当する主任技術者などに必要な資格。
1・2級 造園施工管理技士	卒業後実務経験 2級：2年で受験可能 1級：5年で受験可能	造園工事にあたり施工計画や施工図の作成、工程管理や安全管理などを担当する主任技術者などに必要な資格。
1・2級 建設機械施工技士	卒業後実務経験 2級：1年で受験可能 1級：5年で受験可能	建設現場において管理技術者、主任技術者として機械化施工の管理および監督・指導を行うための資格。
1・2級電気工事施工管理技士	卒業後実務経験 2級：2年で受験可能 1級：5年で受験可能	建設において電気工事と他の工事に関連づけ、電気工事士への指示を担当する主任に必要な資格。
土地家屋調査士	卒業後の受験で測量科目の免除	不動産の表示に関する登記につき必要な土地又は家屋に関する調査及び測量を行う資格。

(4) 将来はこんな職業に

- コンサルタント（測量・調査・設計業務等）
- 建設施工会社（総合、専門）
- 建設関連製品メーカー
- 社会資本維持管理会社（JR、NEXCO等）
- 公務員（土木職）

7 二級自動車工学科

(1) 目指す学科像

当学科は、国土交通省指定の一種養成施設として、次の取り組みを行います。

- ① 国家資格の二級自動車整備士（ガソリン・ジーゼル）および自動車に関連する資格の取得を目指します。
- ② 職業実践専門課程の取り組みとして、企業や関係団体と連携し専門教育の内容充実を図ります。
- ③ 「主体性・多様性・協働性」を兼ね備えた、社会のニーズに応えられる人間性豊かな自動車整備士の育成を目指します。

(2) 育成する学生像

当学科は、職業教育を通じた人間教育を基本に、次のような人材を育成します。

- ① 自動車整備に関する専門知識や技術力の向上を目指し「即戦力」となり得る人材。
- ② 基礎・基本の観点から 6S（整理・整頓・清掃・清潔・躰・安全）教育の趣旨を理解し、実践できる人材。
- ③ 目的意識を持ち、目標に情熱を持って取り組む主体性を備えた人材。

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
二級ガソリン自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な自動車整備士としての資格。
二級ジーゼル自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な自動車整備士としての資格。
二級二輪自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な二輪自動車整備士としての資格。

(3) 将来はこんな職業に(下記の整備士職)

- 自動車販売店（ディーラー）の整備工場
- 各種新車中古車販売店の整備工場
- 大型車両 特装車両系販売店の整備工場
- カー用品等販売店の整備工場など

8 一級自動車工学研究科

(1) 目指す学科像

当学科は、国土交通省指定の一種養成施設として、次の取り組みを行います。

- ① 一級小型自動車整備士の資格取得を目指します。
- ② 環境及び安全面で多様化する自動車の新技術に関する専門知識や故障探求の手順を学び、整備技術力を身に付けます。
- ③ 職業実践専門課程の取り組みとして、企業・関係団体と連携し長期の体験実習による実践教育を行い、接客対応力を身に付けます。

これらを実践することで、真の即戦力となる技術者の育成を目指します。

(2) 育成する学生像

当学科は、専門教育を通して自動車整備全般の知識と接客能力を併せ持つ教育を実践することで、以下の人材を育成します。

- ① 日進月歩する新技術を積極的に学ぶ姿勢を持ち、向上心が強くて働く意欲の旺盛な人材
- ② 接客能力を身に付け、積極的にお客様を受け入れることができる人材
- ③ 周囲と連携する能力を身に付けることで真のリーダーとして中心的な存在になる人材

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
一級小型自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な自動車整備士としての資格。

(4) 将来はこんな職業に

- 自動車ディーラーを中心とした企業の自動車整備士

9 ICT ライセンス学科

(1) 目指す学科像

当学科は、「働きながら学びたい」、「自宅で勉強したい」、「別の勉強をしているが、ICT も学びたい」など、何らかの事情でキャンパスへ通えない方たちの学習ニーズに応える、ICT が学べる通信制の学科です。学習スタイルは、教科書とスクーリングが中心で、SNS を使った学校と学生の双方向コミュニケーションも提供しています。情報技術全般に関する基本的な事項を理解し、情報技術を活用したシステムの設計・開発・運用を実践します。

- ① 各種のプログラミング言語を学び、業務システムや Web システム、組み込みシステム等多様なシステム開発に対応できる人材育成を目指します。
- ② IT パスポート試験や基本情報技術者試験などの IT 系資格の取得を目指します。
- ③ 「自ら学ぶ」をしっかりとサポートします。

(2) 育成する学生像

ICT に関する基礎的なものから最先端の技術までの幅広い講座を受講することによって、自らの知的好奇心を高め、その分野の学習に探求心を持って取り組める学生を育てます。

高度 IT 人材となるために必要な基本的知識・技能を持ち、社会に適応できる人材を目標に、以下の 2 点に取り組めます。

- ① ICT に興味を持ち、探求心を持って学習に取り組める学生の育成を目指します。
- ② 自ら学習のスケジュールリングをして、さまざまな期限を守れるとともに、質問や報告を適宜行い、障壁を乗り越え学習できる学生の育成を目指します。

(3) 将来はこんな職業に

- プログラマー
- システムエンジニア
- コンピュータオペレーター
- ネットワークエンジニア
- カスタマーエンジニア
- その他（情報系の大学への編入学）

10 国際情報学科（留学生対象）

(1) 目指す学科像

当学科は、情報技術全般に関する基本的な事項を理解し、情報技術を活用したシステムの設計・開発・運用を実践します。

- ① 各種のプログラミング言語を学び、業務システムや Web システム、組み込みシステム等多様なシステム開発に対応できる人材育成を目指します。
- ② 専門分野では基本情報技術者、日本語分野では日本語能力試験 N2 の資格取得を目指します。
- ③ 実用的なシステム構築を実践します。

(2) 育成する学生像

高度 IT 人材となるために必要な基本的知識・技能を持ち、実践的な活用能力を身に付けた人材を目標に、以下の 2 点に取り組みます。

- ① 基本的なビジネスマナー（挨拶、期限厳守、報告、連絡、相談など）を身につけ、チームの一員として効果的な共同作業のできる学生の育成を目指します。
- ② システムの設計・開発を行い、信頼性・生産性の高いシステムを構築する創造力と企画力を持つ学生の育成を目指します。

(3) 将来はこんな職業に

- プログラマー ■システムエンジニア ■コンピュータオペレーター
- ネットワークエンジニア ■カスタマーエンジニア
- その他（情報系の大学への編入学）

1 1 国際機械工学科（留学生対象）

(1) 目指す学科像

基礎的な加工技術を修得したうえで、アイデアを形にする学科を目指します。そのため次の 2 点に取り組みます。

- ① 金属加工、CAD を指導の柱とします。
- ② 各種工作機械や 3D プリンタを活用したものづくりを目指します。

(2) 育成する学生像

基礎から応用までグローバルなものづくりを目指す人材を育成するため、次の 3 点に取り組みます。

- ① 基礎・基本を身に付け、誠実でたくましく、働く意欲の旺盛な技術者の育成を目指します。
- ② 勤労を重んじ、産業界に貢献できる創造性豊かな学生の育成を目指します。
- ③ 日本の習慣やマナーを身に付け、日本社会で円滑なコミュニケーションができる学生の育成を目指します。

(3) 将来はこんな職業に

■技術職

設計・製図（CAD）や機械加工の知識・技術を生かし、航空機・船舶・印刷技術・金型製作・機械・自動車部品・プラスチック製品加工など、さまざまな分野で、主として保守・保全を含んだ生産管理者として活躍できます。

■技能職

現在の産業界すべての生産現場におけるオペレーターのほか、医療機器・アパレル・食品加工・電気製品・車両・船舶・航空機・建設機械・工作機械・家具・文具・化粧品など、あらゆるものづくりの現場で生産技術者として活躍できます。

- その他 CADオペレーター、機械加工、機械メンテナンス など
-

1 2 国際自動車工学科 (留学生対象)

(1) 目指す学科像

当学科は、国土交通省指定の一種養成施設として、次の取り組みを行います。

- ① 国家資格の二級自動車整備士（ガソリン・ジーゼル）及び自動車に関連する資格の取得を目指します。
- ② チームワークや協調性を大切にして、社会のニーズに応えられる人間性豊かな自動車整備士の育成を目指します。
- ③ 日本語能力の向上や日本の常識・マナーの会得を目指します。

(2) 育成する学生像

当学科は、職業教育を通じた人間教育を基本に、次のような人材を育成します。

- ① 自動車整備士に関する専門的な知識や技術の向上を目指し「即戦力」となり得る人材
- ② 基礎・基本の観点から6S（整理・整頓・清掃・清潔・躰・安全）教育の趣旨を理解し、実践できる人材
- ③ 常に相手を思いやる気持ちを胸に「和」を大切にして、協調性のある人材

(3) 資格取得上の特典

資格名	特典	内容
2級ガソリン自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な自動車整備士としての資格。
2級ジーゼル自動車整備士	受験資格の取得 実技試験の免除	認証・指定工場に必要な自動車整備士としての資格。

(4) 将来はこんな職業に(下記の整備士職)

- 自動車販売店(ディーラー)の整備工場
- 中古車販売店の整備工場
- 整備専門の整備工場
- カー用品販売店の整備工場など

1 3 進学準備学科 (留学生対象)

(1) 目指す学科像

- ① 当学科は日本語学科から本校工業専門課程(本科)への橋渡しの場として本科受験に耐え得るような基礎学力の向上を目指しています。
- ② 進学および更にその先の就職の際に学生が不自由なく行動できるよう、日本語に関する各技能をバランス良く鍛えながら実践的な日本語の実力を養成していきます。
- ③ 将来的に日本で就職することを念頭に置き、その心構えについての指導や情報提供を実施していきます。

(2) 育成する学生像

- ① より専門性の高い授業を理解し、常に向上心を持って積極的に勉学に臨めるような学生
- ② 語学力のみならず、将来的に日本で就職する際に重要となる社会人としての常識やマナー、コミュニケーション力を兼ね備えた学生
- ③ 長期的な視野のもとで明確な将来像を持ち、それに向けて一つ一つ着実に目標を達成することができるような学生

(3) 卒業後の進路

- 内部進学（本校の専門課程） ■専門学校 ■大学、大学院
- 特定技能、就職、特定活動、家族滞在、帰国など

1 4 日本語学科（留学生対象）

(1) 目指す学科像

当学科は留学生の本科への進学、日本国内での就職を踏まえ、日本語能力試験の勉強を軸としつつも、日本社会に対応・適応できるだけの日本語力を養うことを目標として、次の3点に重点的に取り組みます。

- ① きちんとした生活指導の上に日本語の授業を構築します。
- ② 日本社会で通用する人柄、考え方、また字の丁寧さの必要性について、学生に対し十分な説明を行います。
- ③ 聞く力だけではなく、自ら発話する力や勉強したことを運用するために必要な「基礎力を強化する取り組み」を、繰り返し行っていきます。

(2) 育成する学生像

日本語力とともに、日本での就職を念頭においたとき必要となる「社会人としての心得」を身につけることを目標とし、次のような学生を育成します。

- ① きちんと約束を守ることができる学生
- ② 教員の指示、組織内の規則に従える学生
- ③ 自ら目標を定め、その目標に向かって進んでいける学生

(3) 卒業後の進路

- 内部進学（本校の専門課程） ■専門学校 ■大学、大学院
- 特定技能、就職、特定活動、家族滞在、帰国など

III 教職員（情報提供ガイドラインの項目3）

理事長	常務	校長	専任教員	兼任教員	事務職員	計(人)
1	1	1	39	42	19	103

IV キャリア教育・実践的職業教育（情報提供ガイドラインの項目4）

1 インターンシップ

各学科では企業との連携の一環で、企業における現場実習（インターシップ、体験実習）を実施しています。期間および実施時間数は各学科により異なります。

実施学科：

- | | |
|----------|---------|
| 映像音響学科 | 電気通信工学科 |
| 食品生命科学科 | 建築工学科 |
| 建築工学研究科 | 測量環境工学科 |
| 二級自動車工学科 | 国際機械工学科 |

2 進路講演会

学生の進路意識を高めるとともに、職業選択の一助にするため、学生向けの進路講演会を開催しています。令和5年度は計3回でした。

- ① 学校が主催するもの : 年2回
- ② 学生支援会が主催するもの : 年1回

3 企業説明会

本校では関係企業の協力のもと、学生を対象とした学校主催の説明会を、毎年1、2月を中心に実施しています。参加企業数は学科により異なりますが、学校全体で延べ約130社です。

4 教職員の研修会の参加

教職員の資質能力の向上を図るため、毎年多数の教職員を外部研修に派遣しています。昨年度は延べ約40名が参加しました。

V 様々な教育活動・教育環境（情報提供ガイドラインの項目5）

1 広報新聞

本校では本校の教育活動を保護者に理解していただくため、学校行事等のトピックスを掲載したカギセンニュースを発行しています。カギセンニュースは、成績表の送付にあわせて保護者に配付し学校と家庭を結ぶ情報手段として活用しています。「学校の状況や学生の活動状況が手に取るように分かる」と非常に好評です。

2 技術競技会

建築工学科、建築工学研究科を中心に設計コンクール等に参加し、毎年入賞するなどして高い評価を頂いています。

3 展示会・発表会

卒業研究の発表として校内および校外の施設を会場に開催しています。

開催学科：

映像音響学科

食品生命科学科

建築工学科

建築工学研究科

4 校外研修

全学科が校外の施設等の見学や技術研修に取り組んでいます。

5 学生寮の整備

本校は、遠隔地から進学する学生のため学生寮を設け生活支援を行っています。

VI 学生の生活支援（情報提供ガイドラインの項目6）

1 アルバイトの紹介

学生窓口を設けたり、掲示板に資料を張り出したりしてアルバイト情報等を提供しています。

2 教育相談

本校ではクラス担任が教育相談の窓口となり、初期の対応に当たるとともに、内容によっては学科主任、グループ長、教務次長、教頭が連携して対応できる体制を整えています。

3 学生支援会

本校の学生支援会（旧保護者会）は、平成12年に学校を支援する組織として設立されました。活動としては、学校行事等への参加、進路講演会の開催、備品類の寄贈等です。

4 企業後援会

本校の企業後援会は、平成3年に教育事業の後援と学生の就職支援等を目的として設立され、本校教育並びに卒業生の進路等に絶大な支援をいただいています。会員企業数は約200社です。

5 同窓会

本校の同窓会は、「会員相互の親睦を図り、在校生および卒業生の縦のつながりを密にし、各分野で活躍されている同窓生のつながりを深める」ことを目的に平成7年に設立され、今日まで本校卒業生の精神的拠り所となっています。本校の創立30周年記念にはスクールバスを寄贈いただきました。

VII 学生納付金・就学支援（情報提供ガイドラインの項目7）

1 学生納付金

学 科	入学金 (入学時 のみ)	前期学費		後期学費		1 年次 合 計	2 年次 合 計	3 年次 合 計
		授業料	設備 維持費	授業料	設備 維持費			
映像音響学科	220,000	450,000	90,000	450,000	90,000	1,300,000	1,080,000	
電気通信工学科	220,000	450,000	90,000	450,000	90,000	1,300,000	1,080,000	
食品生命科学科	220,000	450,000	90,000	450,000	90,000	1,300,000	1,080,000	
建築工学科	220,000	450,000	90,000	450,000	90,000	1,300,000	1,080,000	
建築工学研究科	220,000	370,000	90,000	370,000	90,000	1,140,000		
測量環境工学科	220,000	450,000	90,000	450,000	90,000	1,300,000	1,080,000	
二級自動車工学科	220,000	450,000	90,000	450,000	90,000	1,300,000	1,080,000	
一級自動車工学研究科	220,000	450,000	90,000	450,000	90,000	1,300,000	1,080,000	
国際情報学科	220,000	280,000	90,000	280,000	90,000	960,000	740,000	740,000
国際機械工学科	220,000	280,000	90,000	280,000	90,000	960,000	740,000	740,000
国際自動車工学科	220,000	280,000	90,000	280,000	90,000	960,000	740,000	740,000
進学準備学科	220,000	250,000	60,000	250,000	60,000	840,000		
日本語学科	100,000	250,000	60,000	250,000	60,000	720,000	620,000	

通信制学科	入学金	在籍基本料	科目授業料	2年間合計
ICT ライセンス学科	50,000	50,000(半期)	10,000(1単位)	870,000 ※2年間で62単位取得の場合

(単位：円)

※上記納付金以外に、教科書代、教材・教具費用、学生諸費用（同窓会費、補助教材費、体育館系費、保険代等）として下記の金額を入学前または進級時に納めていただきます。

●1年次(予定額)

6万円程度：日本語学科

6万円：進学準備学科

10万円：国際情報学科・ICT ライセンス学科

12万円：建築工学研究科

13万円：食品生命科学科・測量環境工学科・国際機械工学科

14万円：一級自動車工学研究科・国際自動車工学科

15万円：二級自動車工学科

19万円：電気通信工学科

24万円：映像音響学科・建築工学科

※映像音響学科・電気通信工学科・食品生命科学科・建築工学科・建築工学研究科・ICT ライセンス学科・国際情報学科・国際機械工学科は、入学時にノートパソコンが必要です。

●2年次(予定額)

6万円程度：日本語学科

10万円：国際情報学科・ICT ライセンス学科

12万円：国際自動車工学科、国際機械工学科

15万円：上記学科以外

●3年次(予定額)

10万円：国際情報学科

12万円：国際機械工学科・国際自動車工学科

※一級自動車工学研究科は、産業能率大学の併修料が必要となります。

※外国人留学生奨学金

●出願時に在留資格が「留学」である者は、入学金を10万円減額します。

●入学前に日本語能力試験(JLPT)のN3以上に合格している者は、卒業まで半期毎の授業料を各合格レベルに応じ減額します(N1=10万円、N2=5万円、N3=3万円)。

入学後、該当試験に合格した者は次期授業料より減額します。

2 奨学金制度

(1) 特待生制度

〈特待生の特典〉

後期授業料全額～3万円を給付します。

※ICTライセンス学科を除く。

〈応募資格〉

●1年次専攻の場合

A0、指定校推薦、専願のいずれかにて本校の入学試験を受験した合格者

※入学後、ホームルームなどで案内します。

●2年次専攻の場合

1年次の学業成績が評価点の平均が80点以上かつ、出席率80%以上の者で学科(担任)の推薦が得られる者

(2) 奨学金

●A0入学試験の合格者はA0奨学金として前期授業料より10万円を減額します。(初年度のみ)

●指定校推薦にて受験した合格者は指定校奨学金として前期授業料より10万円を減額します(初年度のみ)。

●専願にて受験した合格者は専願奨学金として前期授業料より2万円を減額します(初年度のみ)。

※ICTライセンス学科を除く。

(3) 家族割引

本校に合格し入学する者で、本人と2親等以内の間柄にある兄弟姉妹または親子等が本校に在学中もしくは卒業している場合、家族割引として入学金を全額免除します。

(4) 学費補助制度

本校に合格した方は、下記の奨学金を利用できます。

① 高等教育修学支援新制度

※金額は年額です。詳しくは文部科学省のホームページをご確認ください。

② 日本学生支援機構 奨学金制度

※詳しくは独立行政法人日本学生支援機構のホームページをご確認ください。

VIII 学校財務（情報提供ガイドラインの項目8）

貸借対照表

学校法人名
岡山科学技術学園

（令和6年3月31日 単位：円）

資 産 の 部		負債・純資産(基本金及び繰越収支差額)の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産 (a)	1 655 499 988	固 定 負 債 (c)	284 361 000
有 形 固 定 資 産	1 618 727 919	(1) 長期借入金	259 304 000
(1) 土 地	972 352 130	(2) 学校債	
(2) 建 物	589 705 387	(3) 長期未払金	
(3) 構 築 物	22 987 400	(4) 退職給与引当金	25 057 000
(4) 教育研究用機器備品	26 399 918	(5) その他 ((1)(2)(3)(4)以外の固定負債)	
(5) その他 ((1)(2)(3)(4)以外の有形固定資産)	7 283 084	流 動 負 債 (d)	338 353 631
特 定 資 産		(1) 短期借入金	
(1) 退職給与引当特定資産		(2) 一年以内償還予定学校債	
(2) その他 ((1)以外の特定資産)		(3) 手形債務	
そ の 他 の 固 定 資 産	36 772 069	(4) 未払金	16 808 955
(1) 有価証券		(5) 前受金	8 358 751
(2) 収益事業元入金		(6) その他 ((1)(2)(3)(4)(5)以外の流動負債)	313 185 925
(3) 長期貸付金		負 債 計 (e) (固定負債(c)+流動負債(d))	622 714 631
(4) その他 ((1)(2)(3)以外のその他の固定資産)	36 772 069	基 本 金 (f)	2 129 370 947
流 動 資 産 (b)	348 878 401	(1) 第1号基本金	2 079 370 947
(1) 現金預金	318 801 997	(2) 第2号基本金	
(2) 未収入金	2 045 343	(3) 第3号基本金	
(3) 短期貸付金	21 407 740	(4) 第4号基本金	50 000 000
(4) 有価証券		繰 越 収 支 差 額 (g)	△ 747 707 189
(5) その他 ((1)(2)(3)(4)以外の流動資産)	6 623 321	翌年度繰越収支差額	△ 747 707 189
合 計 固定資産(a)+流動資産(b)	2 004 378 389	合 計 負債計(e)+基本金(f)+繰越収支差額(g)	2 004 378 389

※純資産の部の合計は、基本金(f)と繰越収支差額(g)の合計のため、省略しています。

事業活動収支計算書

学校法人名
岡山科学技術学園

(令和5年4月1日～令和6年3月31日 単位:円)

区分	000	Y00	岡山科学技術専門学校	
	総計	学校法人部門		
教育活動収支	(1) 学生生徒等納付金	512 013 300	512 013 300	
	(2) 手数料	12 277 850	12 277 850	
	(3) 寄付金	250 000	250 000	
	(4) 経常費等補助金	19 200 323	19 200 323	
	(5) 付随事業収入	33 795 210	33 795 210	
	(6) 雑収入	15 156 969	15 156 969	
	a 教育活動収入計	592 693 652	592 693 652	
	(1) 人件費	377 116 576	32 875 000	344 241 576
	(2) 教育研究(管理)経費	196 739 997		196 739 997
	(うち減価償却額)	53 817 385		53 817 385
	(3) 徴収不能額等			
	b 教育活動支出計	573 856 573	32 875 000	540 981 573
	c 教育活動収支差額 (a 教育活動収入計 - b 教育活動支出計)	18 837 079	△ 32 875 000	51 712 079
教育活動外収支	(1) 受取利息・配当金	331 486	331 486	
	(2) その他の教育活動外収入			
	d 教育活動外収入計	331 486	331 486	
	(1) 借入金等利息	5 326 851	5 326 851	
	(2) その他の教育活動外支出			
e 教育活動外支出計	5 326 851	5 326 851		
f 教育活動外収支差額 (d 教育活動外収入計 - e 教育活動外支出計)	△ 4 995 365		△ 4 995 365	
特別収支	(1) 資産売却差額			
	(2) その他の特別収入			
	(うち寄付金)			
	(うち補助金)			
	g 特別収入計			
	(1) 資産処分差額	464 408		464 408
(2) その他の特別支出				
h 特別支出計	464 408		464 408	
i 特別収支差額 (g 特別収入計 - h 特別支出計)	△ 464 408		△ 464 408	
j 基本金組入前当年度収支差額 (c + f + i)	13 377 306	△ 32 875 000	46 252 306	
k 基本金組入額合計	△ 45 655 126		△ 45 655 126	
l 当年度収支差額 (j + k)	△ 32 277 820	△ 32 875 000	597 180	
m 前年度繰越収支差額	△ 715 429 369			
n 基本金取崩額				
o 翌年度繰越収支差額 (l + m + n)	△ 747 707 189			

財 産 目 録

令和6年3月31日 現在

科	目	
一 資産額		
（一）基本財産		
1	土地	
	（1）校地	900,300,000 円
	（2）寮地	72,052,130 円
2	建物、構築物	
	（1）校舎 岡山市北区昭和町35-1 他	494,426,082 円
	（2）寮 岡山市北区谷万成2-443-5	95,279,305 円
	（3）構築物	22,987,400 円
3	教育研究用機器・備品	26,399,918 円
4	管理用機器備品	4,450,233 円
5	その他の財産	39,604,920 円
（二）運用財産		
1	預金、現金	318,801,997 円
2	未収入金、前払金他	4,202,356 円
3	貯蔵品 他	25,874,048 円
	資 産 合 計	2,004,378,389 円
二 負債額		
1	固定負債	
	（1）長期借入金 他	329,865,000 円
2	流動負債	
	（1）授業料前受金 他	292,849,631 円
	負 債 合 計	622,714,631 円
三	差引正味財産	1,381,663,758 円

事業報告書

(第37期 令和5年4月1日～令和6年3月31日)

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

深く専門の諸科学を教授研究し、高度産業社会の科学的発展に寄与する優秀な技術力を持つ
専門技術者を育成する。

(2) 学生数の状況

(5月1日時点)

	入学定員	入学者数	収容定員	現員数
令和5年度	460人	172人	1060人	550人

(3) 役員の概要

理事：9名(常勤5名、非常勤4名)

監事：2名(非常勤2名)

評議員：20名(常勤8名、非常勤12名)

* 当校は役員等を被保険者とする役員賠償責任保険契約を締結しています。当保険契約は
役員等がその職務の執行に起因して保険期間中に損害賠償請求された場合の損害賠償金
及び争訟費用等が当該保険にて填補されます。

2. 事業の概要

(1) 教育活動

令和5年度は、「6S 管理の徹底」「留学生の指導・支援の充実」「学生確保」を最重点課題とし、キーワードも「レベルアップ」とし取り組んだ。一定の成果は実感できたものとなり、特に学生確保については、前年の落ち込みを挽回するだけの確保が実現した。

コロナ禍から脱し通常通りの授業と実習が再開され、スポーツ大会、体育祭、学園祭等の授業以外の学校行事も平時と同様のものが開催できた。

当年度末における卒業生及び修了生は合わせて305名となった。

(2) 資格取得等

◆映像音響学科

舞台機構調整技能士(2級・3級)、電気工事士(第1種・第2種)、映像音響処理技術者
ビジネス著作権検定(BASIC)、足場の組立て等特別教育、フルハーネス型墜落制止用器具特別教育

◆電気通信工学科

電気工事士(第1種・第2種)、消防設備士(甲種4種・乙種7種)
工事担任者デジタル通信(第1級)、陸上特殊無線技士(第1級)
陸上無線技術士(第1級)、
電気通信工事施工管理技術検定(2級)、日本語能力試験(N1)

◆食品生命科学科

毒物劇物取扱者、危険物取扱者(乙種4類)、環境測定分析士(3級)、食品衛生責任者、中級バイオ技術者、品質管理検定(3級)、日本語能力試験(N1)

◆建築工学科

建築士(2級)、建築施工管理技士(2級)、福祉住環境コーディネーター(3級)
FP技能検定(3級)、建築積算士補

◆建築工学研究科

建築士(2級)

◆測量環境工学科

測量士補、土木施工管理技術者(2級)

◆国際機械工学科

機械保全技能士(3級)、技能検定普通旋盤(3級)、
日本語能力試験(N2)

◆二級自動車工学科

ガソリン自動車整備士(2級)、ジーゼル自動車整備士(2級)、有機溶剤作業主任者技能講習
電気自動車等の整備業務に係る特別教育、中古自動車査定士
損害保険募集人(基礎)、日本語能力試験(N2)

◆国際自動車工学科

ガソリン自動車整備士(2級)、ジーゼル自動車整備士(2級)
電気自動車等の整備業務に係る特別教育、日本語能力試験(N1,N2)

* 二級自動車工学科(27名)および国際自動車工学科(63名)においては、自動車整備士資格(2級)を受験者全員が取得することができた。

(3)就職状況(別紙資料②③参照)

令和5年度も就職状況は順調であった。自動車関連企業をはじめとする工業系の人手不足が継続しているため、次年度に向けても内定状況、求人票の受付とも好調である。

[令和5年度実績]

求人社数1,377社、求人数3,598人(求人倍率21.5倍)、就職率100%

監査報告書


学校法人 岡山科学技術学園


理事長 瀬戸川 正彦 殿

私たちは監事として、岡山科学技術学園 寄附行為第17条に基づく監査報告を行うため、令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の、学校法人の業務又は財産の状況について監査を行った結果、学校法人の業務又は財産に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認めます。

令和6年 5月 21日

学校法人 岡山科学技術学園

監事 入江 一彦 

監事 初瀬 由典 

以上

Ⅸ 学校評価（情報提供ガイドラインの項目9）

- (1) 自己点検・自己評価 ホームページ上「<https://www.oist.ac.jp/report.html>」に掲載
 - (2) 自己評価 ホームページ上「<https://www.oist.ac.jp/report.html>」に掲載
 - (3) 学校関係者評価 ホームページ上「<https://www.oist.ac.jp/report.html>」に掲載
-